

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年4月8日 NO.2 (202)



サクラ

花ちゃん 「うわー！国立第七小学校の校庭には、いろいろなお花がいっぱいですね。」

オー君 「そうだね。サクラだろ。チューリップもたくさん咲いているね。それから、黄色いのはナノハナでしょ。」

モンタ博士 「そうだよ。むらさき色の花は、ハナダイコン（平成25年4月16日 園立ててく1のNO.2 参照）だね。みんな、春が来たことを喜んでるように咲いているね。」

オー君 「モンタ博士！お花っていろいろな色があるんですね。ナノハナの黄色、サクラのピンクっぽい白、それにチューリップは、白・赤・黄色・むらさき・クリーム色・オレンジ色などいろいろあるね。」

モンタ博士 「そうだね。花は種類によっていろいろな色があるんだね。」

花ちゃん 「モンタ博士！花は種類によっていろいろな形があるんですね。」

モンタ博士 「なるほど、だんだんとくわしく観察していてえらいね。感心だね。」

オー君 「モンタ博士！花って、種類によって花びらの数がちがうんですね。」

モンタ博士 「ふむふむ。オー君！どういうことかな？」

オー君 「つまりね、サクラはどれもみんな5枚の花びらでしょ。ナノハナはどれも4枚の花びらなんだ。それに、チューリップは6枚ですよ。」

モンタ博士 「そのとおりだ。すごいね！よく気がついたね。サクラなどバラの仲間はみんな5枚の花びらで、ナノハナなどアブラナの仲間は、みんな4枚の花びらなんだよ。これは自然界のきまりなんだ。それから、チューリップなどユリの仲間などは、3の倍数で6枚の花びらなんだよ。」

新1年生 「お兄ちゃんやお姉ちゃんのお話は、ちんぷんかんぷんだ。わからないよ。」

モンタ博士 「ごめんごめん。ちょっとむずかったね。それじゃ、今からみんなでお花の『ぬりえ』をして遊びましょう。」

新1年生 「わーい！うれしいな。たのしいな。」



ナノハナ



チューリップ